

<<記載例>>

様式第1号の6

農地等の利用状況報告書

毎事業年度の終了後3ヶ月以内に提出してください。

令和 年 月 日

日南町長 様

住所 日南町霞800
氏名 株式会社ちなん農場
代表取締役 日南 太郎



日南町農用地利用集積計画において利用権の設定を行った農地（採草放牧地）について、下記のとおり報告します。

記

1 利用権の設定を受けた者（農業経営基盤強化促進法第18条第6項に規定する者）の氏名等

氏名	住所
株式会社ちなん農場 代表取締役 日南 太郎	日南町霞 800

2 報告に係る土地の所在等

所在・地番	地 目		面積 (㎡)	作物の種類別作付面積 (又は栽培面積)	生産数量	反 収 (/10a)	備 考
	登記簿	現況					
霞小字〇〇 1000-1	田	田	1,234	水稻 1,234㎡	611kg	495kg	
霞小字〇〇 1000-2	田	畑	567	トマト 1,457㎡	9,180kg	6,300kg	
霞小字〇〇 1000-3	畑	畑	890				

3 農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響

特になし

4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

集落での営農に関する話し合いに参加している。
地域の美化作業や水路維持作業など集落全体の維持に協力している。 など

5 業務執行役員の状況

氏 名	常時従事者の役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数
日南 太郎	代表取締役	180 日

6 その他参考となるべき事項

会社の業務執行役員または重要な使用人のうち1人以上の者が年間150日以上農業に従事しなければなりません。

◀記載例▶

(記載要領)

1. 不要の文字は抹消してください。
2. 報告する者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署する場合には、押印を省略することができます。
3. 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款の写しを添付してください。
4. 記の2の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
5. 記の3の「農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
6. 記の4の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取り決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。
7. 記の5の「業務執行役員の状況」については、個人である場合は記載不要です。「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う農業に常時従事した業務執行役員の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。